

「2020 年東京オリンピック」日本代表選手選考基本方針 第 3 版（改訂 Ver. 2）

「2020 年東京オリンピック」の 1 年延期決定を踏まえ、昨年来の日本代表選手選考方針ならびに選考プロセス、新型コロナウイルスの感染拡大状況を勘案し、以下のとおり日本代表選手選考基本方針を改定する。

なお、今後、世界ボート連盟(FISA)から発表される新たな情報、新型コロナウイルスの感染状況や政府対処方針等、事情の変更があった場合には、必要かつ合理的な範囲で変更することがある。

(はじめに)

今シーズンにおいては、日本代表選手選考基本方針第 2 版(2019 年 12 月 16 日付)および 2020 年東京オリンピック日本代表選手選考基本方針 第 2 版からの変更部分について(2020 年 3 月 19 日付)に基づき、選考プロセスを推進し、2020 年 3 月 20 日～22 日に日本代表候補選手選考会(Small Boat Selection、以下「2020 年 SBS」という。)が実施された。

この選考会にて、スカル種目においては軽量級およびオープンカテゴリーで各々レースを行い、軽量級の男女各 4 名を日本代表候補として選考した。また、オープンシングルスカルとペアにおいては順位付けを行った。その後、3 月 28 日から軽量級ダブルスカルの代表決定トライアルレースを予定していたが、3 月 24 日に「2020 年東京オリンピック」の 1 年程度の延期が発表されたことを受け、本レースを直前で中止し現在に至っている。

1. 基本的な考え方

今般の選考基本方針の改訂にあたっては、現下の特別な事情を考慮しつつ、「強い選手・最速クルーの実現」、「アスリートファーストの視点」、「これまでの選考方針・選考プロセスおよび 2020 年 SBS の結果」、「将来に向けたオープン種目強化への布石」、「新型コロナウイルスの影響等による選考プロセス実行のリスク」を総合的に勘案して策定した。

また、オリンピック出場権が付与される「アジア・オセアニア大陸予選」、「世界最終予選」、特別枠としての「開催国枠」の 3 つのプロセスに分け明示した。

2. 3 つの選考プロセス

【アジア・オセアニア大陸予選(2021 年 4 月予定 場所:未定) プロセス 1 (以下「P1」という)

(1) 派遣および選考方針

- ・実施種目は軽量級男女ダブルスカル・オープン男女シングルスカルの 4 種目のみであり、かつ最大 2 種目しかオリンピック出場権が付与されない。昨年の世界選手権において出場権を 1 種目も獲得できていないので、実施 4 種目すべてに派遣する。
- ・1 位となった 2 種目がオリンピック出場権を獲得する。ただし、3 種目以上が 1 位になった場合、それらの種目の内、日本ボート協会が 2 種目を選定する。

- ・1位となる種目がなく、すべての種目が2位以下となった場合は、その中から最上位の種目を1種目選ぶこととなる。なお、軽量級男女ダブルスカルは最低3位まで、オープン男女シングルスカルは最低5位までに入ることがオリンピック出場権の獲得条件となる。

[複数種目が同順位になった場合の種目決定方法]

日本ボート協会が、アジア・オセアニア大陸予選決勝におけるレースのIdeal Time（以下、「IDT」という。）に対する割合（以下、「%IDT」という。）により決定する。

なお、コーチ陣がレースコンディションに差があったと判断した場合は、レース終了後、速やかに種目の優先順位を決定するタイムトライアルレースを行う予定である。（開催場所等は調整中）

(2) 選考対象選手

2020年SBSの結果・評価に基づき、軽量級シングルスカル男女上位各4名、オープンシングルスカル男女最上位1名を対象とする。

(3) 選考スケジュール

①2021年2月24日（水）～25日（木）：シングルスカル評価レース

- ・軽量級、オープンの区分をせずシングルスカルレースを行う。（*予備日 2月26日）
- ・軽量級選手の体重設定は、男子72.5kg以下、女子59kg以下とし、レース当日に体重計測を行う。
- ・具体的なレース方式等については事前に通知する。

②2021年3月3日（水）～5日（金）：軽量級ダブルスカル決定トライアルレース

- ・シングルスカル評価レース1位と2位のクルーおよび3位と4位のクルーでダブルスカルを編成しトライアルレースを実施する。なお、トライアルレースは編成の組み換え等で最大3レースに及ぶ場合がある。
- ・初日に1位-2位組が3位-4位組みに勝利した場合は、代表決定とする。それ以外の場合は、2日目、3日目のレースを実施する。
- ・具体的な評価方法とその後の対応（補漕を含む）については事前に通知する。
- ・クルー決定トライアルレースで代表とならなかった軽量級選手はプロセス2に進むことができる。（予選タイムトライアルを免除し、2021年SBSからの参加となる）
- ・軽量級のクルーの体重設定は、男子71.2kg以下、女子58kg以下とし、レース当日に体重計測を行う。

(4) シングルスカル評価レースの目的

①男女軽量級シングルスカルによるランキング1~4位の決定。

1年延期されたオリンピック東京大会の直近における選手個々の実力を評価し、最強のダブルスカルを結成することを目的とする。

②男女オープンシングルスカルのパフォーマンス評価

1年延期されたオリンピック東京大会の直近での個人のパフォーマンスを再評価したうえで、シングルスカル日本代表を選考する。オープン選手がすべての軽量級選手よりも上位であれば代表決定とする。シングルスカル評価レースでオープン選手が敗れ、日本代表に決定しなかった場合、本人が希望するときはプロセス2に進むことができる。（予選タイムトライアルを免除し、2021年SBSからの参加となる。）

(5) アジア・オセアニア大陸予選のシングルスカル日本代表についての補足

P1でオープン選手がアジア・オセアニア大陸予選の日本代表に決定しなかった場合、2021年SBSにおけるシングルスカルの1位をアジア・オセアニア大陸予選のシングルスカル日本代表とする。

(6) アジア・オセアニア大陸予選から世界最終予選への派遣について

アジア・オセアニア大陸予選において種目の1位となったが、東京オリンピックの参加権利を獲得できなかった場合、そのクルーを当該種目で世界最終予選に派遣する。

【世界最終予選（2021年5月予定、スイス・ルツェルン）】 プロセス2（以下「P2」という。）

(1) 派遣および選考方針

- ・オリンピック全種目のうちアジア・オセアニア大陸予選終了時点で出場権を獲得していない種目を対象に日本代表候補選考プロセスを経て、予め定める基準をクリアした種目の派遣を予定する。
- ・評価方法は、最少単位の最速クルーを選抜するとの考えた方に基づき、男女オープンシングルスカルおよびペアとする。
- ・世界最終予選における出場権獲得を目指すとともに、「2020 東京オリンピック」後のオープン種目強化への布石とし、結果については 2021 年シーズンの国際大会への選手派遣の基礎とする。
- ・**新型コロナウイルス感染症拡大の影響により Head of The ARA (以下「HOA」という) への参加は選考要件から除外する。**

(2) 選考スケジュール (予定)

- ① **2020 年 12 月** および 2021 年 2 月 : 2000m エルゴテスト記録の提出
- ② 2021 年 3 月 13 日 (土) : 日本代表候補最終選考レース予選タイムトライアル
*予備日 3 月 14 日 (日)
- ③ 2021 年 3 月 25 日 (木) ~27 日 (土) : 日本代表候補最終選考レース (SBS)
- ④ 2021 年 4 月 日程未定 : 世界最終予選日本代表クルー決定トライアルレース。
- ⑤ 2021 年 5 月 日程未定 : ワールドカップ等の国際大会

※2020年ヘッドオブアラ (HOA) について、選考要件ではありませんが、開催された場合は、トレーニングの一環として多くの選手の積極的な参加を推奨する。

(3) 選考要領

表 1

男子オープン	6 分 20 秒未満
女子オープン	7 分 20 秒未満

① 2000m エルゴテスト記録の提出

- ・ **2020 年 12 月 6 日 (日)** と 2021 年 2 月 21 日 (日) に各団体または個人で 2000m エルゴタイムトライアルを実施し、所定フォーマットに則りそれを記録して、日本ボート協会事務局に提出すること。
(写真は必要なし)
- ・ なお、2 回のエルゴテストの内、最低 1 回は表 1 の基準をクリアしなければ次のステップに進むことはできない。

② 日本代表候補選考レース予選タイムトライアル

- ・ 戸田ボートコースにおいて 2000m タイムトライアルを 2 回実施し、2 回のタイムの平均でランキングを作成し、ランキング順に上位から選考する。
- ・ 男女オープンシングルスカルおよびペアからそれぞれ最大シングル 24 名・ペア 12 クルーを選抜する。

③ 日本代表候補最終選考レース (以下、「2021 年 SBS」という。)

- ・ 戸田ボートコースにおいて 2000m レースを、組合せは FISA Progression System (World Cup Rule) に則って実施する。
- ・ それぞれのゴールタイムを %IDT に変換し、そのランキングを用い、各カテゴリーの選考人数を決定する (気象等の条件も考慮する)。
- ・ 選考人数は、シングルスカルは男女最大各 4 名、ペアは男女最大各 4 クルーとする。

表 2. 2020 年シーズン IDT について

	男子	女子
1x	6 分 27 秒	7 分 03 秒
2-	6 分 05 秒	6 分 45 秒
2x	5 分 56 秒	6 分 33 秒

4-	5分34秒	6分11秒
8+	5分15秒	5分51秒

※2020年SBSにおける軽量級シングルスカル男女上位4名、オープンシングルスカル男女最上位1名については、予選タイムトライアルを免除し、「2021年SBS」本選に参加することを可能とする

(4) 男女スカル種目 (M2x、M4x、W2x、W4x)

- ・日本代表候補最終選考レースにおける上位者最大4名がいずれも高いレベルにあって拮抗していると判断した場合には、%IDTを主要な指標として、その時点で試すべきとコーチ陣が判断する合理的な組み合わせでダブルスカルまたはクォドルプルを編成し、トライアルレース（編成の組替え等で複数回に及ぶ場合がある）を実施する。
- ・日本代表候補最終選考レースの順位、レースタイム、%IDT、トライアルレースのタイム等を総合的に勘案し、男女スカル種目での世界最終予選への派遣クルーおよび派遣の可否を決定する。但し、世界最終予選前にワールドカップ等の国際大会が開催される場合は、その結果を評価し最終決定を行うことがある。

(5) 男女スイープ種目 (M2-, M4-, M8+, W2-, W4-, W8+)

- ・日本代表候補最終選考レースにおけるオープン男女ペア1位の世界最終予選への派遣の可否を総合的に判断し決定する。
- ・なお、日本代表候補最終選考レースにおける上位最大4クルーが、いずれも高いレベルにあって拮抗していると判断した場合には、%IDTを主要な指標として、1位と2位のペアでフォア、または4位までのペアでエイトを編成しトライアルレースを実施する。
- ・日本代表候補最終選考レースの順位、レースタイム、%IDT、トライアルレースのタイム等を総合的に勘案し、男女スイープ種目での世界最終予選への派遣の可否を決定する。但し、世界最終予選前にワールドカップ等の国際大会が開催される場合は、その結果を評価し最終決定を行うことがある。

【開催国枠（特別措置）】 プロセス3（以下「P3」という。）

(1) 選考方針

- ・「2020東京オリンピック」の予選競技会において、男女それぞれいずれの種目も出場権を獲得できなかった場合、開催国枠として、男女それぞれのシングルスカル1クルーに出場権が付与される。
- ・2021年5月に開催される世界最終予選終了後1カ月以内に決定レースを行う。
- ・決定レースへの参加選手は男女それぞれP1のシングルスカル評価レースの上位2名およびP2の2021年SBSにおけるシングルスカル最上位者1名の合計3名でマッチレースを行い、1位となった選手を日本代表とする。
- ・具体的なレース方式等については事前に通知する。

3. 派遣種目および日本代表選手の最終決定

派遣種目および日本代表選手は、コーチ陣が選定し、強化委員会の提言を受け、選考委員会の審査を経た上で、理事会が最終決定する。

4. その他

(1) ナショナルチーム強化合宿への参加および国内外のレース参加について

東京オリンピック日本代表選手は、オリンピック予選競技会およびオリンピックにおけるパフォーマンスを最大限発揮するため、「2020東京オリンピック」までの全期間を通して、強化委員会が指定したスケ

ジュールにそって活動しなければならない。所属団体における活動などで、スケジュール外の活動をする必要がある場合は、強化委員会の事前の承諾を得なければならない。

(2) 疾病や弔事等やむにやまれぬ事由への対応について

昨シーズンの選考プロセスと同様に、選手が選考会や評価レースにおいて評価できなかった場合、強化委員会が必要かつ相当と認めたときには、次のステップでの評価対象に含める場合がある（診断書等当該事由を証明する書面の提出が必要）。なお、自己について必要性及び相当性の充足について確認したい場合は、強化委員会に事前に相談することができる。

以 上

※変更、追記箇所を赤字で記す。